



報道関係者各位
プレスリリース

2009年10月13日
ABB 株式会社

ABB 日本ベレー、アジアパワーアワードにて銀賞を受賞

～最新の技術が、日本の石炭火力発電所の発電効率の向上と、
環境汚染物質の排出量削減に寄与しています。～

タイ、バンコク、2009年10月8日発 - 電力とオートメーション技術で世界をリードする ABB は、グループ子会社である ABB 日本ベレー(静岡県伊豆の国市)が、本年のアジアパワーアワードで銀賞を受賞したと発表しました。

ABB 日本ベレーの受賞は、電源開発株式会社(J-Power)殿の新磯子火力発電所 2 号機において、発電効率を高めながら環境汚染物質の削減を達成した同プラントに対して提供された、最新技術を搭載した制御システムソリューションに対するものです。

「J-Power 殿、株式会社ジェイベック(JPEC)殿、ジェイパワー・エンテック株式会社(J-POWER Entech)殿と一緒にこのプロジェクトに参加させていただき、エネルギーの効率化と、環境汚染物質の排出量の削減に貢献できたことを我々 ABB 日本ベレーは誇りに思います。環境への負荷を低減しながら、お客様のオペレーションエクセレンスを高めていくお手伝いをするために、我々は絶えず努力を重ねて参りましたし、これからも注力して参ります。お客さまにご満足いただけるシステムを供給できたうえに、我々のソリューションがこのような権威のある賞をいただけたことは、我々の喜びであり、この上ない励みとなります。」と、ABB 日本ベレー社長、ウォルフラム・オーピッツは喜びを語っています。

600MW の最新鋭の石炭火力発電所は東京湾岸に位置し、日本で最も重要な工業地のひとつである、沿岸の京浜工業地帯へと電力を供給しています。

ABB 日本ベレーは、数々の最先端技術を同発電所プロジェクトに供給しています。最先端の技術を結集した制御システム(DCS)を、複数の環境汚染物質に対応する制御技術に昇華させ、SO_x、NO_x、煤塵などの環境汚染物質削減をサポートしました。ヒューマンシステムインターフェイス(HIS: 日本版プロセスポータル)の導入により、発電所の運転・監視機能の一元化を可能にし、また、環境運用計算機は、発電所操業の最適化を支援し、リモート I/O システムの導入は、プラント建設費用の削減に寄与しています。

そのなかでも特に顕著なのが、ReACT(Regenerative Activated Coke Technology)と呼ばれる、ジェイパワー・エンテック株式会社殿の乾式脱硫脱硝装置です。乾式脱硫は、再生活性炭素を使い、99.9%以上の SO_x を排煙から除去することが可能で、プロセス中で用水をほとんど使用しないという特徴があり、また同時に NO_x も除去する性質も併せ持ち、従来の湿式脱硫装置に比べ優れた特徴を持っています。

アジアパワーアワードは、年に 1 度、アジアパワー誌の主催でパワージェネレーションアジア会議および展示会に併せて発表される、アジアの最優秀発電プロジェクトに贈られる栄誉ある賞です。

■ABB について (<http://www.abb.com/>)

ABB は、世界のおよそ 100 カ国に 120,000 人の従業員を擁する電力技術とオートメーション技術のリーディングカンパニーです。環境負荷を最低限に抑えながらお客さまの業務効率を最適化するソリューションの数々を、産業界と公益事業の皆さまに提供しています。日本国内においては、電力およびオートメーション事業を、製造、販売、サービス分野にわたって展開しています。

また、ABB の日本国内における活動は、ABB 株式会社と 3 つの合弁事業から構成されており、ABB ジャパングループとして約 750 名の従業員、12 都市にわたる販売/サービスネットワークを擁しています。



【本件に関するお問い合わせ先】

ABB 株式会社

所在地: 〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー

担当 : 広報部 フランクリン・ワン(Franklin Wang)

E-MAIL: jpabb.communications@jp.abb.com

TEL : 03-5784-6254

FAX : 03-5784-6281